

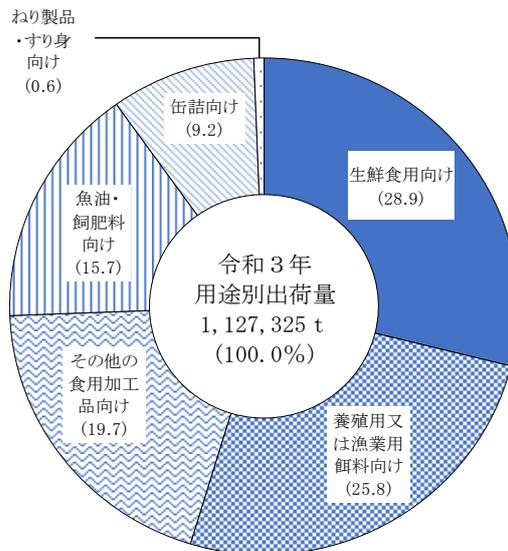
I 調査結果の概要

1 令和3年水産物の用途別出荷量の動向（31漁港・19品目）

令和3年の水産物の出荷量（31漁港・19品目）は112万7,325 t となった。

用途別にみると、生鮮食用向けは32万5,390 t（出荷量割合28.9%）、養殖用又は漁業用餌料向けは29万927 t（同25.8%）となった。

図1 用途別出荷量割合（31漁港・19品目）



注：統計数値及び構成比については、表示単位未満の数値を四捨五入しているため合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

表 用途別出荷量及び出荷量割合（31漁港・19品目）（出荷量の上位品目）

品目	計	生鮮食用向け	ねり製品・すり身向け	缶詰向け	その他の食用加工品向け	魚油・飼肥料向け	養殖用又は漁業用餌料向け
出荷量 (t)							
合計	1,127,325	325,390	7,209	103,924	222,467	177,408	290,927
生鮮品計	926,228	222,775	7,209	97,942	129,967	177,408	290,927
うちまいわし	424,635	59,901	2,113	14,582	28,985	173,093	145,962
さば類	283,744	39,215	2,164	78,205	33,568	2,150	128,443
まあじ	55,849	22,337	2,767	-	18,919	436	11,390
かつおぶり類	41,357	35,799	-	1,045	3,930	-	583
ぶり類	31,240	15,641	-	-	15,453	-	146
冷凍品計	201,097	102,615	-	5,982	92,500	-	-
うちかつお	144,337	52,397	-	4,134	87,806	-	-
きはだ	35,036	33,246	-	1,451	339	-	-
出荷量割合 (%)							
合計	100.0	28.9	0.6	9.2	19.7	15.7	25.8
生鮮品計	100.0	24.1	0.8	10.6	14.0	19.2	31.4
うちまいわし	100.0	14.1	0.5	3.4	6.8	40.8	34.4
さば類	100.0	13.8	0.8	27.6	11.8	0.8	45.3
まあじ	100.0	40.0	5.0	-	33.9	0.8	20.4
かつお	100.0	86.6	-	2.5	9.5	-	1.4
ぶり類	100.0	50.1	-	-	49.5	-	0.5
冷凍品計	100.0	51.0	-	3.0	46.0	-	-
うちかつお	100.0	36.3	-	2.9	60.8	-	-
きはだ	100.0	94.9	-	4.1	1.0	-	-

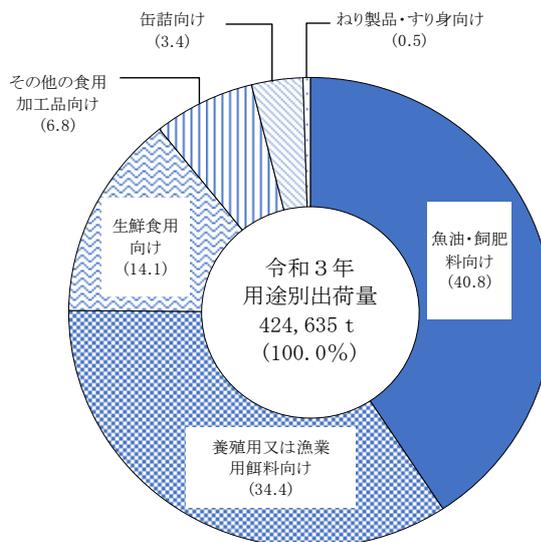
2 令和3年主要品目の動向（出荷量の上位品目）

(1) 生鮮品

ア まいわし

用途別にみた出荷量割合は、魚油・飼肥料向けが40.8%と最も高く、次いで養殖用又は漁業用餌料向けが34.4%となった。

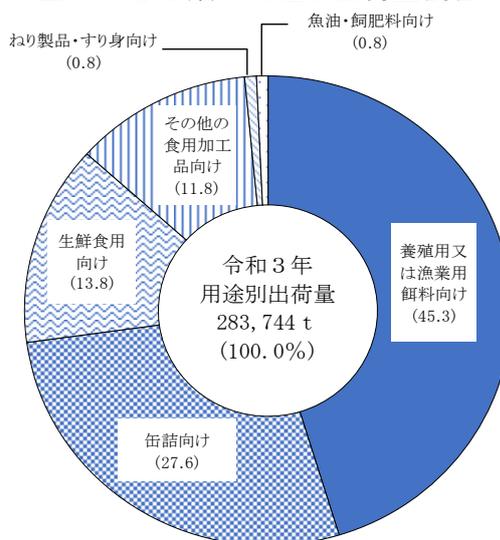
図2 まいわしの用途別出荷量割合



イ さば類

用途別にみた出荷量割合は、養殖用又は漁業用餌料向けが45.3%と最も高く、次いで缶詰向けが27.6%となった。

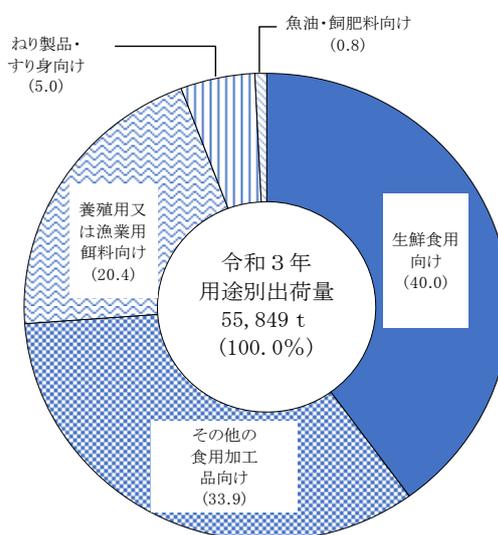
図3 さば類の用途別出荷量割合



ウ まあじ

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが40.0%と最も高く、次いでその他の食用加工品向けが33.9%となった。

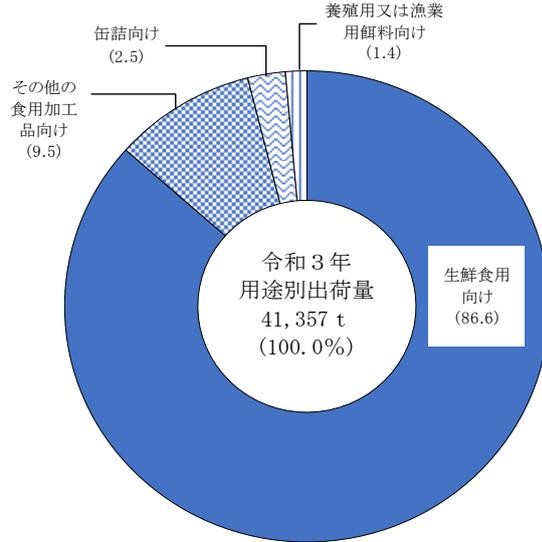
図4 まあじの用途別出荷量割合



エ かつお

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが86.6%と最も高く、次いでその他の食用加工品向けが9.5%となった。

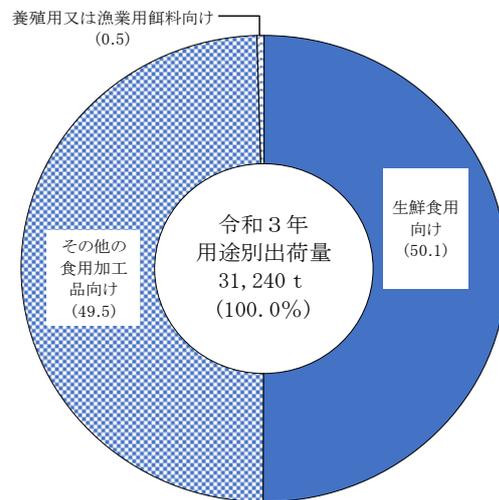
図5 かつおの用途別出荷量割合



オ ぶり類

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが50.1%と最も高く、次いでその他の食用加工品向けが49.5%となった。

図6 ぶり類の用途別出荷量割合

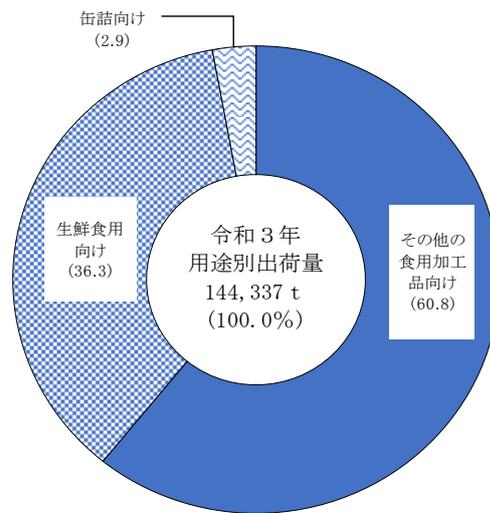


(2) 冷凍品

ア かつお

用途別にみた出荷量割合は、その他の食用加工品向けが60.8%と最も高く、次いで生鮮食用向けが36.3%となった。

図7 かつおの用途別出荷量割合



イ きはだ

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが94.9%と最も高く、次いで缶詰向けが4.1%となった。

図8 きはだの用途別出荷量割合

